

高市総理の逆襲

小野寺政調会長が「むちゃくちゃだ」と表現した、新たなトランプ関税 15% が設定されるものの、「日本に莫大な投資を要求するためのトランプ関税」の方は停止されました。

この機会に無駄な対米投資は、もちろん実施しない方向が良いですが、日本流の「莫大な対米投資の実施方向ながら、内容の見直しを行う」と説明して、継続的な精査・交渉により、結果的に最少に抑える必要があると考えています。

日本凋落の要因（補助金のバラマキ政策）を、各省庁・各政党・複数の自治体、複数のメディアに何年もメールや電話でお伝えしているのに、一向に改善の兆しがなく、この高市旋風の機会に、全党が協力する日本の改革ができないものかと思っております。

内閣官房行政改革・効率化推進事務局 租税特別措置・補助金見直し担当では、国民からの意見を募集しており、提案した内容をご紹介します

主題：「補助金のバラマキ政策が、日本凋落の要因」
副題 1 「メディアや野党が国際競争力低下（38 位）の要因分析をしていない。」
副題 2 「衰退期なのに成長期の政策を維持している。『一つひとつ丁寧には NG』
「部分（地方からの）改善は NG」、全方位を考慮した「社会システムの変革」
=「スロー社会の構築」が必要であり、再度国際競争力 1 位を目指すべきです。

<日本の現状>

車載電池市場で、2014 年はパナソニックが世界シェア 38%を誇り、日産・NEC 合弁の AESC を加えると日系メーカー全体で 70%を占める絶対的な支配力を持っていたにも関わらず、2025 年ではパナソニックのシェアがわずか 3.7%に急落、代わって中国企業が市場シェア 70%を占めています。

かつてのお家芸の鉄鋼や造船も、既に中国に対して大きく水をあけられています。

世界をリードしていた NEC や富士通のパソコン事業が中国企業（レノボ）に、また最後に残ったソニーの TV 事業が中国企業に買収されています。

河野太郎氏の主催する政府の再エネ打ち合わせでは中国企業のロゴ入資料を使い、中国マネーにより再エネ機器のほとんどが中国製となり、パナソニック、シャープ、東芝、日立等の日本の有力企業が再エネ機器からの撤退を余儀なくされています。（あのトランプ大統領でさえ、US スチールを黄金株で死守しており）**中国系の企業からの献金を禁止にし、日本の企業を守る施策への転換をお願い致します。**

日本での（世界でも）少子化対策の成功例は、保育費や給食費の無償化をし、高額な児童手当や出産祝い金等、とにかく各種手当が手厚い状況が伺えます。

千葉県松戸市や兵庫県明石市は、便利なベッドタウンであり、財政が豊かで

あり、また岡山県奈義町は鳥取県との県境に位置し、とても不便な場所に該当するものの、自衛隊の「日本原駐屯地」があり、同様に財政が豊かです。

彼ら（松戸市・明石市・奈義町）を見習えという風潮があり、特に奈義町へは多くの自治体からの視察団も多く、視察団からお金を徴収（1団体1万円）しているとのことですが、財政状態に大きな隔たりがあるのに、「学ぶ必要がある」として、（財政が苦しいのに）無駄な出張（視察）が設定されるのも問題だと思えます。

例外的な一部の（各種手当が手厚いところでは）少子化が解消され、一方で全国のほとんどの自治体では、少子化（過疎化）は、とてつもなく大きな、決定的な死活問題の課題として残存をしていき、しかもそれが加速している状況ですが、従来の「補助金のバラマキ政策」では、莫大な税金の無駄遣いとなるばかりか、国家存亡の危機となっています。

何十年も負のスパイラル（少子化（未婚率が30年で約5倍）→個人負担増（税金が30年で約2倍）→貧困化（エンゲル係数が米国の約2倍））を回し続け、（賛否両論があるにせよ）従来の政策に誤りがあり、その結果として、一人当たりのGDPが24位、国際競争力が38位と、後がなくなっております。

生活の困窮が高市総理への希望につながっている。

1/7

輸出還付金・各種の補助金の見直し・法人税の見直しで財源を確保をし、社会保険料の引き下げ、消費減税、給食の無償化へ、全党が協力する。

最近特に各種指標急激に悪化

国難に対し高市総理の指示で全党協力体制

企業献金を受けると、無駄とわかっていても補助金を出さねばならず、過剰に支出が増大し、財源が足りなくなり増税を行うようになり、今後の物価上昇に伴い、さらに貧困が加速。子供自殺者増加。



何十年も負のスパイラル(少子化(未婚率が30年で約5倍)→個人負担増(税金が30年で約2倍)→貧困化(エンゲル係数が米国の約2倍))を回し続け、そろそろ限界に達します。

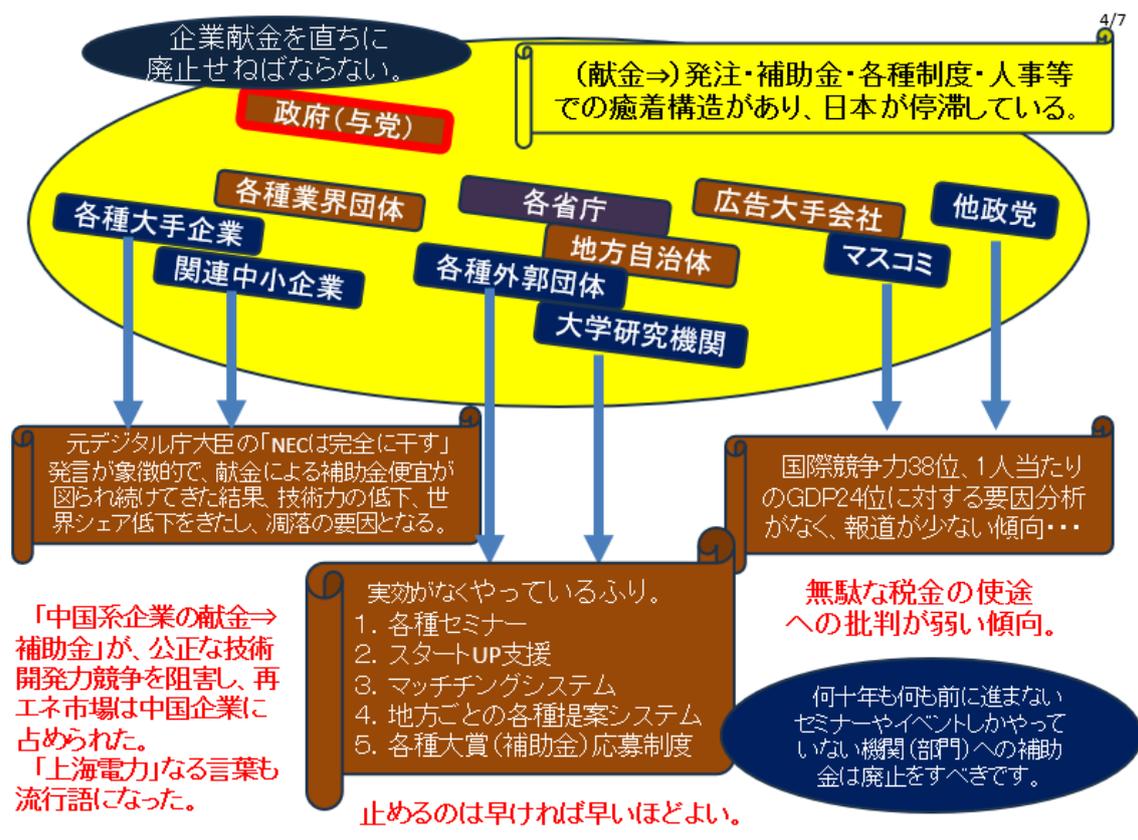
従来の思考「一つひとつ丁寧に・・・」は、発展途上ならまだしも成熟社会を通り過ぎて、現状の衰退社会では大きく間違っておられます。

「少子化→個人負担増→貧困化→少子化→」の負のスパイラルが加速しており、例えば少子化対策として、〇万円を給付したところで、焼け石に水、根本解決にはつながりません。

農業も同様で、補助金をだしても限界（不便過疎化、貧困少子化）があり、根本解決にはつながりません。

多くの公官庁・自治体で勘違いをされておられますが、地方創世・町おこしや、何かの活性化策（人もの金を投入）をすれば、（基本ベースとして人口減&過疎化の流れがあり）お金がなく、または補助金をもらえず活性化策がとれない近隣地域では、住民は落差を感じ、むしろ失望し落胆し、さらに過疎化が進みます。（ある地域がよくなると、むしろ近隣の地域は悪化が加速する。）

従いまして、活性化策として特定の地域に補助金を出すシステムは大きな間違いです。



<セミナーの問題>

セミナーを開催・受講、あるいは何かのイベントを企画・参加すると、あたかも取り組んだような気持ちになりますが、勘違いであり、何も前に進まないし、本来成すべく取り組みが疎かになります。

「東京大学未来ビジョン研究センター」や「神奈川県地球温暖化防止機構」等は、名前だけが立派ですが、何十年もセミナーまたはイベントのみを行う組織となっており、補助金の見直しが必要です。

<スタートUP支援の問題>

(成長期ではなく) 衰退期では、スタートUPで支援された企業の売上げが増えれば、関連分野での今まで細々と営んできた零細企業の売上げが減り、倒産の可能性があります。スタートUPの企業も支援がなくなると、倒産する可能性があります。

国際特許を取得し、海外でのシェア獲得の可能性のあるスタートUP支援に特化すべきです。

<マッチングシステムの問題><地域ごとの各種提案システムの問題>

そもそも特定地域の課題は存在せず、あるいは特別な事情があるときのみ存在するが狭い範囲であり共通性がなく、また対応する企業側も、培ってきた技術や設備に縛られ、実際の成功例は極めて少ない状況です。

いくらやっても(実績が示すとおり)何も変わらないので、やめるべきです。

<各種大賞(補助金)応募制度の問題>

参考に「第12回 ロボット大賞」事務局宛のメールを紹介します。

日本のロボット技術は30年前は世界の最先端を走っておりましたが(AI化が出遅れている関係で)中国や欧米に対し、遅れに遅れております。

例えば、中国では、AIロボット盲導犬、AI食堂(24時間全自動の食堂)、ダーク工場(人が居ないので暗くてもよい24時間全自動の工場)が深耕し、AIに関する特許件数では、中国100:1日本のようなイメージです。

ロボット大賞に特許提案だけでも、時代を大きくリードするものであれば、大賞を設定する方向も今後の課題としてご検討いただけますと幸いです。

すなわち、特許技術で競い合いが生じ、よい特許技術は国を挙げて支援するようにすれば、再び日本が国際競争力一位に立つ日が訪れると考えております。

「正のスパイラル」に転じるには、社会システムの転換が必要であり、それが「スロー社会の構築」です。概要を以下のURLにてご熟読ください。

https://www.garden-field.com/_files/ugd/954e39_f784604c3444474589b9bfcdcd617958.pdf

(↑全ての課題を同時に解決し、誰でもが幸せになれる最良・最大の経済政策)

「スロー社会は移動社会」「スロー社会は集う社会」「スロー社会はAI社会」

「スロー社会は幸福社会」「スロー社会は安全社会」「スロー社会は子育て社会」



上記の関連にて、各種企業様、各種研究機関様、各種官公庁様や自治体様、各種メディアや政治家様、さらには学生や一般の人達にも、推進の御貢献度に応じて、以下の URL の特許対価を分配致しますので、もしもよろしければ、「スロー社会の構築」及び「カーボンニュートラルの達成」に対して何らかの形(実際のお取組、各種議会や HP 上での紹介、SNS やユーチューブ等での投稿)にてご協力をお願いできないでしょうか。

<特許提案>

1. スロー社会 (誰でもが幸せになれる社会・低速自動運転車社会・移動社会)
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7595386

2. カーボンニュートラル達成 (環境にやさしく低コスト)
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7675467
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7655605
https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7199129

いずれの特許も世界を大きくリードした画期的な技術内容です。
ご連絡をお待ちしております。

なにとぞ、よろしくお願い致します。